

## 一緒に考える支援を心がけています

犯罪など心身に有害な影響を及ぼす行為の被害にあわれた方やそのご家族で、国分寺市に在住・在勤・在学・在活の方の相談をお受けしています。

警察署への被害届を提出されているなど、犯罪の被害にあわれたことが明らかである方を対象とさせていただきます。※性被害については、被害届の提出がなくてもご相談を伺います。

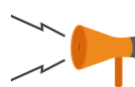


国分寺市では、犯罪被害者等基本法に基づき、平成25年2月1日に国分寺市犯罪被害者等支援条例を施行し、犯罪被害にあわれた方やそのご家族の支援に取り組んでいます。

## — 犯罪被害者家族の声 —

- ただ一緒にご飯を食べたり、たわいもない会話で、笑ったり明日のスケジュールを確認したり、ごくありふれたどこにでもある日常が、手の届かない日常になってしまった。
- 「雪は天から送られた手紙である」ということばがありますが、私も子どもから1年に1度でよいので、手紙が欲しいです。
- 墓苑の君の傍に行けるその日まで、君に恥じないようにもう少しがんばるつもりです。  
(遺族の手紙より)

## 誰でも犯罪被害にあう 可能性があります



## 被害にあうということは・・・

犯罪被害にあわれた方の多くは、突然の事に混乱する中で、感情や感覚がマヒしたり、強い恐怖や怒りを感じたり、自分を責めたり、被害にあって恥ずかしいと感じたりすることがあります。

また、この先どうしたらよいかわからなくなってしまうこともあります。

❖ **それは当然の反応**で、社会的に支援が十分なままに孤立すると、さらに状況が深刻化することがあります。

❖ **早期の支援が有効**です。被害を受け、どこに相談してよいかわからないという時には、まず当市の窓口にご相談してください。  
身近な方で被害にあわれた方がいらしたら、このリーフレットをお渡しし、相談をすすめてください。

# 国分寺市 犯罪被害者等 支援相談窓口



被害にあわれたご本人だけでなくご家族からのご相談もお受けします。  
相談窓口は、一緒に考える支援を心掛けています。  
誰かに話を聞いてもらいたいと思ったら、ひとりで悩まずにご相談ください。

〒185-0034 国分寺市光町1-46-8

ひかりプラザ2階 男女平等推進センター

**相談専用電話：042-573-4342**

相談時間 9:00～17:00 月～金（祝日、年末年始除く）

email:soudan@city.kokubunji.tokyo.jp

もし犯罪被害にあったしまったら・・・



## 国分寺市犯罪被害者等支援相談窓口へ

### 相談

国分寺市の職員が、プライバシーの守られた相談室で話を伺います。秘密は厳守します。

TEL042-573-4342(相談専用電話)

e-mail:soudan@city.kokubunji.tokyo.jp  
で相談できます。

### 情報提供

お聞きした被害内容や悩みの内容によっては、犯罪被害にあわれた方の支援に精通している専門機関の紹介や連絡調整を行います。

### 各種手続き支援等

警察や裁判所などで犯罪被害に関わる手続き、被害にあったことを理由とする市役所内の各種手続き窓口や病院への付き添いなどを必要に応じて行います。

### 生活支援資金貸付けあっせん

犯罪にあったことで治療費・葬祭費などの資金を支出しなければならなくなった場合に、市が貸付のあっせんを行います(保証料・利子は全額市負担)。



## 市以外の相談・関係窓口

### 警察関係

- 警視庁総合相談センター(警察相談の総合受付)  
#9110 03-3501-0110 24時間受付
- 警視庁犯罪被害者ホットライン(犯罪被害にあわれた方の心の悩み相談)  
03-3597-7830 月～金(8:30～17:15)
- 小金井警察  
042-381-0110

### 東京都総合相談窓口

- 東京都公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体(公社)被害者支援都民センター  
03-3222-9050  
多摩地区  
042-506-1042  
月木金(9:30～17:30)、火水(9:30～19:00)
- 性暴力救済ダイヤルNaNa 24時間ホットライン  
#8891 03-5577-3899

### 法律相談窓口

- 日本司法支援センター(法テラス)  
犯罪被害者支援ダイヤル  
0120-079714  
(IP電話からは03-6745-5601)  
月～金(9:00～21:00)、土(9:00～17:00)  
祝、年末年始を除く
- 弁護士会による犯罪被害者相談 ※初回のみ無料  
03-3581-6666 月～金(11:00～16:00)  
祝日、年末年始を除く

## 地域でできること

犯罪被害を受けた後も、住みなれた地域で安心して暮らすためには、地域の方々の温かい理解と支えがチカラになります。

思いやりを持って、自分ができること(具体的)  
できない事の話をする、伝わりやすい。

### 犯罪被害者へ × 声掛けの例



- ・辛いことは早く忘れて・・・
- ・あなた一人が苦しいわけではない
- ・がんばって前向きに生きて！
- ・何か困ったことがあったら言って
- ・あなたにも悪いところがあったのでは？
- ・あなたは強いね

### 犯罪被害者へ ○ 声掛けの例



- ・つらい気持ちをそのまま感じていていいんだよ
- ・ゆっくりでいいので、今は心を休ませる事を優先にして
- ・あなたは悪くない。話を聞こう
- ・ここまで耐えたんだね。無理はしないで
- ・外出の付添いや買い物でしたらできるので、いつでも声をかけて

